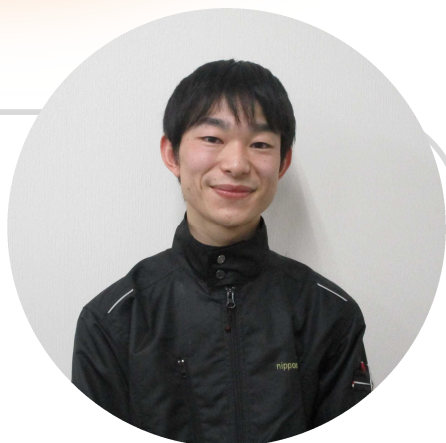


日本中央交通株式会社

「また乗りたいと言って
もらえるような接客を」



宮澤 皓樹さん

26歳

事業内容：タクシー

現業：タクシー運転手

令和6年より運転手として活躍

Q1.運転手を目指したきっかけはありますか？

タクシードライバーを目指す友人の誘いがあり、私自身も運転が好きだったのでやってみようと思いました。

Q2.入社に至る経緯を教えてください。

説明会に参加した際に**第一印象が明るくて良かったこと**です。また、会社が大きくて車の台数も豊富だったので良かったと感じました。

Q3.入社について、家族や友人の反応はありましたか？

あまり良いイメージは持たれなかったです。特に群馬は車社会で都内の方面とは違い、マイカーの所持率も圧倒的に高く、利用される方も少ない印象があったので、収入面で心配されました。

Q4.入社前の印象と実際の印象等に違いはありましたか？

運送業界に対して、年配の方が多く、労働時間が長いイメージがありました。また、道や地理を知っていなければいけないイメージがありました。ですが入社してみると、思っていた以上に自分の時間を作りやすく、**自分のペースで仕事ができます**。また、ワークライフバランスが非常に良いです。雰囲気も本社・会社の中は明るい方が多いイメージです。

Q5.入社にあたり、学生時代にしておいた方が良かったと感じたことはありますか？

私は転職でこの業界に入ってきたため特にはないですが、**地名やおいしいお店・人気店などは聞かれることが多いので、知っておくと役立つ**かもしれません。運転しながら知識をつけていて、よく行くおいしいお店などお客様におすすめしています。

Q6. 運転手になり、嬉しかった経験を教えてください。

「**ありがとう**」や「**また乗りたい**」など、お客様から感謝の言葉を頂いたときやチップを頂けたときが嬉しいです。

混雑時にスムーズに進めたときにやりがいを感じ、**行ったことのない場所に行くことも多いので楽しい**です。

Q7. 逆に大変だった経験、苦慮した経験はありますか？

深夜帯に動いているので、酔っている方が多く目的地を中々お聞きできなかったり、目的地についても泥酔されて中々起きない方などは大変です。

Q8. 若手タクシー運転手だからこそできると感じることは何かありますか？

お客様と**しっかりコミュニケーションを取り行動すること**を大切にしています。

Q9. 御社における魅力的な制度等がありますか？

二種免許取得に必要な費用などを会社が負担してくれることです。二種免許取得に関しては、スケジュールが組み込まれていて、会社での研修の日と教習の日で分かれていています。

Q10. 1日の勤務の流れを教えてください。

私の場合は夜勤なので、大体は18時半頃に出勤し様々な業務を行っています。平日だと3時頃に退社、金・土の忙しい日は4時から4時半くらいまで残ることもあります。行く場所やお客様の目的地によっても流れが変わってくるので、**その日の動きでスタイルを変えています**。家の近くに行くことがあれば家に立ち寄ったり、コンビニに寄ったりと**休憩もきちんとして**います。

Q11. 全国的に運送事業者における運転手不足が深刻となっています。若手運転手から見て運転手を目指す若年層が少ない原因について率直にどうお考えですか？

私達の世代から見た場合、現在では物価高の問題がある中で、ボーナス・退職金などを重視して転職活動をする方が多い傾向にあり、**将来を考えた際に不安を抱く人が圧倒的に多いこと**だと思います。歩合制・完全歩合制という言葉自体に、**不安定なマイナスのイメージ**を感じることも原因だと思います。

Q12. 若年層が運送事業の運転手に興味を持つためにはどういったことが必要と考えますか。

女性が働きやすい環境をアピールすること、研修制度をより豊かにすること、ネガティブなイメージをなくしていくことが必要だと思います。

夜勤は**自分のタイミングで仕事を切り上げられる**ので歩合制のメリットだと感じています。歩合制は追い込みたいときに追い込んで、休みたいときにしっかり休むという切り替えができます。

Q13. 最後に宮澤さんの目指すキャリアアップと今後運転手を目指す若年層の方々へメッセージをお願いします。

1日の売り上げ目標を自分なりにしっかり決めて、目標達成に向けて努力し来年はその売り上げを超えられるように頑張りたいです。

また、お客様に「**また乗りたい**」と言っていただけるような接客を頑張りたいです。**お客様とお話するのが好きな方は向いている職業**だと思います。

日本中央交通株式会社

求める人材

「真面目で前向きな姿勢を持って 仕事ができる人」

人事担当者インタビュー

今回、若手運転手のインタビューに併せ、事業者の求める運転手像や自社のアピールポイントについて人事・採用担当者様にインタビューを実施しました。

☆日本中央交通株式会社
専務取締役 諸井 克之

Q1.今回、若手運転手を採用するに至った経緯を教えてください。

諸井専務：私が12年前くらいに会社に入社した当時、**会社の中で私自身が1番年下**だったことに驚きました。運転手の平均年齢の高齢化に係る問題や配車業務のDX化など**現状を変えていかなければならないという強い思いから特に若年層ドライバーの採用**には力を入れています。

Q2.若手運転手を確保する上で工夫している点、その他の雇用促進に係る取組みがあれば教えてください。

諸井専務：企業説明会の実施です。**面接に気軽に参加できる仕組みが大切だと考えています。**

諸井専務：非常に悔しいですが異業種込みの説明会では、タクシーを選択する方々はまだまだ少ない状況です。しかしながら、**少しでもタクシーに興味があったり、運転が好きだったり、接客が好きな方々が気軽に説明を聞けるよう毎週土曜日に外部向けの自社説明会を実施**しています。また、当社は運行に係る機器のDX化についても力を入れており、そこも若年層ドライバーに対するアピールポイントです。

Q3.運転手に対する福利厚生等を教えてください。

諸井専務：**保養所の設置や分科会の設置**をしています。分科会ではバス旅行等を企画しています。また、社内表彰制度（思いやり運転・接客）の導入も進めています。

Q4.運転手の将来的なキャリアアップについて教えてください。

諸井専務：希望により運転業務から配車センター業務や運行管理者に職制変更した事例もあります。まだ事例はありませんが、**私を見て役員業務への興味を持ってもらえるケースなどが出てきたら嬉しく思います。**職制変更に係る講習や研修についても当社が負担していることから、様々な業務にトライしてほしいと思っています。また、**運転業務の成績により、ハイクラスの車両に乗務することもできます。**

Q5.時短勤務制度の導入等、雇用促進に関して工夫していることを教えてください。

諸井専務：ママさんドライバー等に関しては個別に相談を実施し**時短勤務の導入・促進を図っています。**また、当社は**社長が女性**であり、本人も子育てをしながら働いてきたということもあり、そういった部分でも受け入れ体制が整っていると自負しています。急な休暇への対応も可能です。



Q6. どのような人材を求めますか？

諸井専務：真面目で前向きな姿勢を持っている人。また、誰にでも挨拶ができる人、目を見て会話のできる人。安全運行はもちろんのこと、**現場の運転者が会社の看板であり、顔であり、お客様から評価される部分**となります。そういった当たり前のことをしっかりとできる人を求めています。

Q7. 若手運転手を雇用し社内に変化したことはありますか？

諸井専務：率直に社内が明るくなったと感じています。若年層ドライバーの考え方を聞くことで**非常に刺激を受けている**と感じています。
また、50～60代の方からすれば若手運転手は息子・娘と同じ世代になるので、巣立った自分の子供と同じ年代の子が近くにいて嬉しいと思います。

Q8. 御社におけるPRポイントを教えてください。

諸井専務：先ほど話をしたシステムのDX化の件もそうですが、**常に挑戦し続けている企業であるということ**。経営陣が比較的若く、若い世代が会社の舵取りをしております様々な事柄に柔軟に対応ができるということもPRできるポイントだと考えています。また、**社長が女性であることから、社長自らが女性が活躍する体制の整備を進めていることも売りです**。

Q9. 事業者から見て運転手を目指す若年層が少ない原因について率直にどうお考えですか。

諸井専務：**宣伝力不足が一番**だと思います。タクシー業界においてはシステムのDX化が急速に進んでおりますが、そういった**メリットとなる部分・働きやすさに繋がる部分が求職者に全く知られていない**と思います。企業説明会でも業界の現状が知られていないと感じること場面が非常に多いです。業界全体の平均値で言えば低賃金のイメージもあるが、**アクティブな世代であれば稼いでいる方も相当数いる**ため、そういった点の見せ方や宣伝方法を工夫しながらアピールを続けなければならないと感じています。

Q10. 最後に運転手を目指す方々へのメッセージをお願いします。

諸井専務：まずは一度、**業務の内容やタクシー業界の進化を見て・聞いてもらいたいと思っています**。公共交通機関という**責任感・使命感**のある仕事を若い時から経験できるということはすごく大きなことです。是非挑戦していただきたいです。

今回、日本中央交通株式会社様のご協力もあり、若手運転手インタビューを実施することができました。日本中央交通株式会社様には感謝申し上げます。
インタビューを行った際の一番の印象は、人事担当の方と運転手さんとの関係性や雰囲気がとても良く、アットホームな会社だと感じました。運転手さん自身も、入社前は業界に対してマイナスなイメージが多かったことから、そうしたイメージを払拭することが最優先であり、魅力の発信に努めていかなければならないと感じました。

運輸支局M

インタビュー
後記